

発言通告書（質問）

次のとおり、①. 一般質問 2. 施政方針に対する質問 3. 緊急質問) の通告をいたします。

平成 20年 6月 17日

富士市議会議長様

富士市議会議員 小池 智明 印

受付 No.
平成 年 月 日
午(前・後) 時 分
受理者

(小池智明議員 2 -1)

発言項目	富士山麓ブナ林創造事業への取り組みについて	
	要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者
	<p>平成6年度より取り組みを開始した「富士山麓ブナ林創造事業」は、かけがえのない財産である富士山麓の貴重な自然を適正に保全・創造し、後世に伝えていくことを目的としている。</p> <p>以来、延べ8,220名の市民が参加し、植栽面積9.78haに17,370本の広葉樹の苗木を植栽してきた。</p> <p>毎年4月になると新聞紙上に「富士山麓ブナ林創造事業」の文字と写真が掲載され、多くの市民にこの事業が認知され、意識啓発の面では一定の効果を上げていると考えられる。</p> <p>一方、当初は国有林、富士山こどもの国という国、県が関係する土地を利用していましたが、平成18年度からは、市有林伐採跡地を事業対象地として展開している。しかし、多くの市民がバスで、安全に行くことができること等の制約から、基幹林道沿いの植栽可能な場所を毎年転々と移動し、実施する結果となっている。</p> <p>「富士山の恵みの受益者である市民の参加により自然林を創っていく」という富士山麓ブナ林創造事業の基本的な考え方に立つ中で、以下について質問する。</p> <p>1 市有林伐採跡地を活用しての今後のブナ林創造事業の基本的な狙い、展開方向について</p>	市長及び担当部長

<p>2 市民にとって計画的な自然林造成が経年的に目に見えてわかるよう、事業実施場所については、富士市森林整備計画と調整の上、一定規模以上の用地を確保した上で計画的に取り組むべきではないか</p> <p>3 自然保護や水源涵養の意識啓発、環境教育の観点から</p> <p>(1) 春の事業実施時には、苗木の植栽だけでなく、富士山麓の森林の現状や課題、取り組みなどについて理解いただくために、森林見学会、自然観察会などを組み合わせて実施すべきではないか</p> <p>(2) 植栽時だけでなく、植栽後の保育管理についても、安全教育も含め、下草刈り等については、市民参加方式で進めていくべきではないか</p>	<p>市長及び担当部長</p>
--	-----------------

発言項目	岩本山公園の整備・活用への取り組みについて	
	要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者
	<p>岩本山公園は、「富士市観光交流まちづくり計画」の「岩本山・雁堤プロジェクト」における重要拠点として位置づけられている。</p> <p>このプロジェクトの一環として、「ウメ・サクラと富士山」を楽しみに、多くの観光交流客の皆様に富士市にお越しいただこうと、平成 16 年度より市と富士急行が連携した中で、新富士駅・富士駅と雁堤・岩本山公園を廻る「富士と花の周遊バス」を運行している。</p> <p>春先の不順な天候に左右される側面はあるものの、周遊バスの利用者は年々増加している。また、インターネット等の開花情報をもとに、この時期に自家用車により市外から訪れる方も増えている。</p> <p>こうした動きに併せ、市では駐車場を整備したり、また地元岩松北地区主催の「梅祭り」、観光協会（現・富士山観光交流ビューロー）や施設利用振興公社などが中心になって取り組むさまざまな「おもてなし」も年々活発化しつつあり、富士市を代表する観光交流拠点として、今後ますます多くの皆様の入り込み利用が期待されている。</p> <p>こうした中で、以下について質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光交流振興の観点からの今後の岩本山公園の整備・活用の基本的な考え方について 2 みやげ物等を販売できるような売店施設の整備が必要と考えるがいか 3 観光交流拠点としての景観管理の観点から <ol style="list-style-type: none"> (1) ラ・テラス裏の展望台に来場者が「恋の成就」を願って取り付けた鍵が多数あるが、この整備・活用を考えるべきではないか (2) 雁堤や富士市街地をパノラマ的に楽しむことができる眺望地として、2 基の展望台からの眺望を確保するため、周辺樹木の頭詰めあるいは展望台のかさ上げをすべきではないか 	市長及び担当部長